ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.5	調査位置	岡崎市大門4丁目地内			北緯	
発注機関	岡崎市下水道課			調査期間	平成2年2月26日～ 年 月 日	東経	
調査業者名	梶谷エンジニア株式会社	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	窪田 好伸
孔口標高	H +17.79m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 船面 90°	使用機種	試錐機	KHD-50	ハンマー落下用具	コーンブーリー法
総掘進長	10.45m								エンジン	ヤンマーNS80C	ポンプ	V-6プランジャ

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	16.99	0.80	0.80		盛土	暗灰			
1	16.09	0.90	1.70		シルト質砂	暗灰		軟	
2 3	13.79	2.30	4.00		砂質シルト	暗灰		軟	
4 5	11.99	1.80	5.80		シルト混じり砂	暗灰	中位		
6 7 8 9 10	7.34	4.65	10.45		粗砂	暗灰			

孔内水位m／測定月日：1.40 2/26

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.15	1	1	1	3/30	3
1.45					
2.15	1	1	1	3/30	3
2.45					
3.15	0	1		1/32	1
3.47	17	15			
4.15	1	1	2	4/30	4
4.45	8	8	14		
5.15	2	1	1	4/33	4
5.48	13				
6.15	5	7	8	20/30	20
6.45					
7.15	5	5	5	15/30	15
7.46					
8.15	5	6	8	19/30	19
8.45					
9.15	4	5	5	14/30	14
9.45					
10.15	5	6	7	18/30	18
10.45					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度 m	試験名および結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法
2.15～2.45	5-S・P・T	

室内試験（ ）

掘進月日